

# 地域力の大切さを学んだ豪雪災害

2月14日から15日にかけての大雪は、観測史上最大の積雪となり、道路をはじめとする交通網に大混乱を引き起こし、社会生活にも大きな影響を与えました。

今回の大雪に関する一連の経過と町の主な対応、住民の皆さまによる地域での取り組みなどについて、まとめました。

## 【大雪当日の状況】

2月14日未明から降り始めた大雪は、15日の正午過ぎまで降り続き、16日午前7時の時点で最大積雪量95cmと、これまででない記録的な大雪になりました。

この大雪の影響により、県内の鉄道、高速道路をはじめとする各種交通網は、全面的にストップし、町内でも国道18号線、県道浅間サンラインが全く動かなくなつたほか、町内のいたるところで、車の立ち往生が発生しました。

また、役場には、15日未明から「家から出られない」「いつになつたら道路の除雪をしてもらえないのか」といった連絡・問い合わせ、苦情が絶え間なく寄せられました。

## 【町内の除排雪について】

町では、14日から町建設業協会の協力を得て、重機による道路の除排雪作業を24時間体制(3月1日まで)で行うとともに、町職員も全庁体制

で除排雪作業にあたりました。しかし、町内全域が雪の壁となり、除排雪に時間を要することになりました。地域の生活道路については、大型の重機が入ることができないため、区による除排雪や、町消防団の皆さまにもご協力いただき、区内道路や孤立世帯までの道路の除雪、高齢者のお宅の除雪をしていただいたところもありました。

また、生徒・児童の通学路については、PTAの皆さまにも歩道の除雪にご協力いただきました。

## 【炊き出し等の実施】

今回の大雪では、国道18号線で車両が滞留し、トラックや一般車両のドライバー、バスの乗客の方などが最大4日間、車の中に缶詰状態となりました。

このような中、17日には、馬瀬口区、三ツ谷区の区民の皆さまにより、国道18号線で滞留している車両のドライバー・乗客の方のために炊き出しをしていただいたとともに、それ

ぞれの公民館を提供いただき、エコーみよたと併せて、町内3カ所で、避難所を開設しました。

また、避難所以外でも、国道18号線沿線の飲食店や住民の皆さまにより、ドライバー・乗客の方に、おにぎりをはじめとする食料品を提供いただきました。

## 【今回の大雪による町内の被害状況】

(2月11日現在町に報告があったもの)

### ○人的被害

- 重傷 2名

- 軽傷 1名(救急要請のあったもの)

※重傷とは、1ヵ月以上の治療を要する見込みのもの

○建物被害(県への報告の基準による全壊・半壊など)

- 農業関連施設(ハウス、倉庫等) 539棟

被害額 185、145千円

- 農業関連以外施設(カーポート等) 4棟

## 【災害に備えて】

阪神・淡路大震災や東日本大震災を経験する中で、大規模・広範囲に及ぶ災害時には、公共防災機関(公助)による対応には限界があるということが認識されました。

公共防災機関が保有する資機材の数量には限りがあるため、同時にすべての現場に向かうことはできません。このことから、「自助・共助」の考え方が必要になります。

### ● 自助

「自分の命は自分で守る」

自助が防災・減災活動の基本です。

### ● 共助

「地域の安全は地域みんなで守る」

自助だけでは家族を守りきれない場合もあります。住民同士の助け合いが大切です。

### ● 公助

「公共防災機関による活動」

消防、警察、役場など

特に、地域における共助は自助にも直結するものです。



重機による除雪作業(2月21日 馬瀬口区内)

## 【今回の大雪に関する主なできごと】

2月14日	夜～	町内道路の除排雪開始(以降、3月1日まで)
	18:30	上信越自動車道(富岡IC～長野IC)通行止め開始
	22:30	国道18号線碓氷バイパス通行止め開始
15日	1:00	県道浅間サンライン(小諸市柏木交差点～軽井沢町浅間サンライン入口交差点)通行止め開始
	朝～	長野新幹線、しなの鉄道始発から全線運休
	6:30	町担当職員に役場参集指示(以降、段階的に、全職員に対して役場参集指示)
	9:15	町災害対策本部設置(災害・交通情報の収集および防災行政無線等による情報提供)
16日	朝～	自衛隊により国道18号線および浅間サンラインの除雪開始
	8:30	町全職員、役場参集
		消防団員による各地域の除雪等作業
	午後	県知事に対して、県としての除雪対応・支援を要請
	15:00	県道浅間サンライン(小諸市柏木交差点～軽井沢町浅間サンライン入口交差点)通行止め解除
17日	8:00	避難所開設(馬瀬口創作館)
	8:40	災害救助法の適用(2月15日付け)
	10:00	避難所開設(三ツ谷集会所)
	11:10	避難所開設(エコールみよた)
	22:30	上信越自動車道の一部(松井田・妙義IC～佐久IC)通行止め解除
18日	4:30	国道18号線碓氷バイパス通行止め解除
	朝～	しなの鉄道通常運行再開
	12:00	町内3カ所の避難所閉鎖
19日		保育園・杉の子幼稚園登園再開
		長野新幹線通常運行再開
20日		小・中学校登校再開
24日		ゴミ収集、拠点収集開始
3月 1日		町建設業協会による組織的な除排雪作業終了
		ゴミ収集、全個所収集再開

## 【お願い】 農業用ハウス等の復旧・修繕・撤去のための助成を希望される皆さまへ

町では、2月の大雪により被害を受けた農業生産施設(ハウス等)の再建・修繕・撤去費用等について助成を検討しています。助成内容は、詳細が決まり次第、お知らせします。

補助金等の交付を受けるために必要な証拠書類(下記)の保管をお願いします。

- 被害状況の写真(日付入り)。
- 外注した場合は、施設の復旧・撤去に関する発注書、納品書、請求書等。
- 自己撤去の場合は、撤去作業を行った者、日付、費用額などの証拠書類。

- ※被害状況を未報告の方は、報告をお願いします。
- JA佐久浅間組合員の方
 

小沼支所	(32)3322
御代田支所	(32)5385
伍賀支所	(32)2309
- JA佐久浅間組合員以外の方
 

産業経済課農政係	
----------	--

問い合わせ先 産業経済課農政係(内線27・64)

## り災証明書・被災証明書について

2月の大雪により、建物や農業用ハウスなどが被害を受け、保険金の請求や農業制度資金の借入れ等のために証明が必要な場合は、「り災証明書」・「被災証明書」を発行しますので、お手続きをお願いします。

- 問い合わせ先 ●農業施設以外 総務課防災情報係(内線29)  
●農業施設 産業経済課農政係(内線27・64)

## ○お見舞金・支援物資をいただいた皆さま(順不同)

全国町村会様、長野県町村会様、北陸4県町村会様、全国町村議会議長会様、長野県町村議会議長会様、近隣5県町村議会議長会様、(株)八十二銀行様、第一法規(株)様、信濃毎日新聞(株)様、カレーハウスCoCo壱番屋佐久ステーションパーク店様、平川徳治様、吉田祐一郎様

国や県では、共助を進めるため、地域住民による「自主防災組織」の立ち上げを積極的に推進しています。「自主防災組織」は、日常的には、地域における防災知識の普及啓発や防災訓練、危険個所のパトロールといった取り組みを行い、いざ災害が発生した際には、初期消火活動や地域住民の避難誘導、炊き出しといった取り組みを行う組織です。各ご家庭においても、災害時に備えて食料・飲料水をはじめ、生活必

需品の備蓄に心がけていただくようお願いいたします。

## 【災害対応へのご協力・ご支援 ありがとうございます】

今回の大雪災害では、町内道路の除排雪や避難所の開設、滞留している車両のドライバー・乗客の方への救援物資の配給などにあたり、多くの皆さまのご協力・ご支援をいただきました。本当にありがとうございました。

また、町内外の多くの皆さまから町に対して、お見舞金や支援物資が寄せられました。併せてお礼申し上げます。

町には、国道18号線で滞留していた車両のドライバーの方から、炊き出しなどについてのお礼の手紙・メールが届いています。

## 問い合わせ先

総務課防災情報係(内線29)



積雪の様子(2月15日 小田井信号付近)